

---

# 山梨大学教育学部附属教育実践総合センター

## センターだより第217号(通巻第284号)

---

2025年4月30日 発行  
山梨大学教育学部  
附属教育実践総合センター  
TEL 055-220-8325、FAX 055-220-8790  
E-mail: edjissen-as@yamanashi.ac.jp  
URL: <https://www.edu.yamanashi.ac.jp/aepc/>

※このセンターだよりで紹介した研究会、研修、教育フォーラムに関するお知らせは、改変しない限り、自由に複写、配布していただいて結構です。

\*\*\*\*\*コンテンツ一覧\*\*\*\*\*

### ■ 新任教員 着任のご挨拶

### ■ 各種リーフレットやご案内について

- ・山梨大学 教師塾プロジェクト 2025～2026 『ACTION PLAN』の配付
- ・山梨大学教育学部 R7 年度版「地域学習アシスト事業」ご紹介リーフレット
- ・令和7年度 期間採用者等研修（スキルアップ研修）のご案内
- ・令和7年度 子どもと教師の成長を結ぶ 教育評価研修会のご案内
- ・やまなし情報教育推進室開発 メタバース空間「Link」のご案内

### ■ 6月・7月の主な行事予定

\*\*\*\*\*

## ■新任教員 着任のご挨拶

令和7年度は、教育実践研究部門に3名の客員教授、山梨県との交流人事による実務家教員2名を迎えました。

どうぞよろしくお願いいたします。

### 教育実践研究部門（兼 教職大学院 客員教授）田之口 晃士

本年度からお世話になります田之口晃士と申します。令7年3月31日をもって、再任用期間を終了し、2回目の退職をしました。

高校現場での様々な経験が、少しでもお役に立てば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

### 教育実践研究部門（兼 教職大学院 客員教授）廣瀬 学

本年度からお世話になります、廣瀬学と申します。昨年度まで山梨市立山梨南中学校に勤務していました。これまでの経験を生かし、新たな環境で新しい視点を持ち、学校教育を見つめていきたいと思ひます。大変微力ですが、精一杯努力したいと思ひますので、何卒ご指導をよろしくお願いいたします。

### 教育実践研究部門（兼 教職大学院 客員教授）保坂 伸

本年度からお世話になります、保坂伸と申します。昨年度まで甲府市立北中学校に勤務しておりました。附属中副校長時代にもたいへんお世話になりました。精一杯務めたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。

### 教育実践研究部門（兼 教職大学院 教授）渡邊 昭二郎

本年度から附属教育実践総合センターにお世話になります。実務家教員の一人として、学校現場及び県や市の教育委員会での経験を生かし、当センターの役割を果たせるよう努力してまいります。微力ではありますが、何卒よろしくお願いいたします。

### 教育実践研究部門（兼 教職大学院 准教授）笠井 さゆり

本年度より、附属教育実践総合センターでお世話になります笠井さゆりと申します。県内公立小学校や山梨大学教育学部附属小学校、県教育委員会での勤務経験を生かし、実務家教員として、力を尽くす所存でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

## 各種リーフレットやご案内について

### ■ 山梨大学 教師塾プロジェクト 2025～2026 『ACTION PLAN』の配付

「Action Plan」は、入学から卒業までの教職に関わる大事なイベントを、主に学部1年生向けに示したものです。昨年度中から、実践センター教員と学部生からなる「学生検討委員会」を結成し、作成に知恵を絞ってきました。入学したての1年生が、大学4年間を見通し、より教職を目指しやすいインフォメーションとなるものを目指し議論を重ねてきました。そしてできたのが、2025年版「Action Plan」です。表面は、すごろくタイプのスケジュール表としました。裏面は各学年で経験する、教育ボランティアや教育実習などの行事について、実際に体験した学部生・教職大学院生が、どんな内容で、どのような意義深いものであったか等、わかりやすく紹介しています。教職をめざす1年生が、これらの教職に関わるイベントに、夢や希望を抱いて参加してくれることを願っています。

### ■ 山梨大学教育学部 R7 年度版「地域学習アシスト事業」ご紹介リーフレット

本学部の教育ボランティアの発展形として実施している「地域学習アシスト事業」の紹介リーフレットが完成しました。「地域学習アシスト事業」は、令和元年度からスタートし、地域の学校と本学の学生(教育学部生・教職大学院生)及び大学教員が、学校の教育課題を共有し、協働して解決策を探りながら、当該学校の教育活動を支援することにより、学校が抱える教育課題に対応できる実践的な能力を身につけた教員養成を行っていくものです。内容をご覧いただき、引き続き、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

### ■ 令和7年度 期間採用者等研修(スキルアップ研修)のご案内

「期間採用者等研修(スキルアップ研修)」は、附属教育実践総合センターと山梨県教育委員会との連携事業の一つとして実施しているものであり、研修の機会が充分でない期間採用教職員等や、教育に関する実践力を高めたい若手教員、学生・院生を対象に、教育に関する基本的な理念、教職についての基本的な知識、さらには実践的指導力を身に付けるための基礎的な研修です。この研修は、期間採用者や大学学部生・院生に大変好評をいただいております。ぜひご参加ください。

### ■ 令和7年度 子どもと教師の成長を結ぶ 教育評価研修会のご案内

山梨県総合教育センターとの共催による「子どもと教師の成長を結ぶ 教育評価研修会」を開催します。学習・指導と評価の一体化を可能にし、授業方法の改善につなげる方法であるOPPA(1枚ポートフォリオ評価法)についての研修会です。今年度も法政大学生命科学部生命機能学科教授の辻本昭彦先生に講師を務めていただきます。今年度は、甲府市南公民館と南都留合同庁舎での開催です。山梨県総合教育センターHPからお申込みいただけます。皆様のご参加をお待ちしております。

### ■ やまなし情報教育推進室開発 メタバース空間「Link」のご案内

やまなし情報教育推進室では、教育諸課題(いじめ、不登校、病弱・院内学級児の遠隔学習参加等)への対応に資するメタバース空間を開発しました。児童生徒の学びの多様性や学びの選択肢を広げる場の一つとなることを目指しています。おしゃべりルームで雑談をする、自習ルームで学習をする、授業ルームで授業を受けるなど、使い方はたくさんあります。

山梨県内の学校関連施設(学校、児童館、サポートルーム、教育委員会等)には、この空間を無料でお貸しします。導入の支援も行いますので、詳細はお問い合わせください。

# ACTION PLAN

2025  
年度版

## さあ、動きだそう!

多くのガイダンス・講座・セミナーに参加して情報や体験を共有し、教師になろう!

祝山梨大学入学

STEP 1

### 1年次

まずは、学校現場や子どもとふれあうチャンスを増やそう!

# START!



新入生合宿研修  
大学生活の過ごし方を考えよう!

BIG EVENT

#### 観察実習

3年次の教育実習に向けて授業観察から始めます!



学生面談

4月

教育ボランティアスタートセミナー  
教育ボランティアガイダンス

5月~6月

夏休み

進路支援ガイダンス

10月

2月

BIG EVENT

#### 初年次学校園体験活動

大学入学後初! 1年生で学校現場体験!!  
まずは具体的なイメージをつかもう!



教育ボランティア  
毎年度5月~2月  
1年次~4年次参加可能

STEP 2

### 2年次

新しいことにチャレンジしてさらに成長! 教育実習に備えよう!



教員就職直前講座

4月

BIG EVENT

#### 教員採用試験

これまでの学びをかしこみに試験に臨もう!  
そして...先生に!!

3年次は1次試験のみ  
※自治体ごとに異なります



4年次は1次・2次  
3年で1次通過者は2次のみ

夏休み

介護等体験実習

6月~1月

7月

教員採用試験  
スタートガイダンス

講座・セミナー

進路支援ガイダンス

10月

10月~

進路支援ガイダンス  
教育ボランティアスタートセミナー  
教育ボランティアガイダンス

教師力養成講座②(2年生対象)

2月

教育実習グループワーク

STEP 3

### 3年次

教師としての自分発見!  
夢・目標に向かって本格始動!

教育実習で教師としての実践力を高めていこう!



進路支援ガイダンス  
進路アンケート

4月

4月~

4月~6月

6月~8月

BIG EVENT

#### 教育実習

4年間で最大のイベント  
実際に教壇に立ちます!



夏休み

7月

教員採用試験  
スタートガイダンス  
教師力養成講座①(3年生対象)

進路支援ガイダンス  
就活スタート説明会

8月~10月

10月

10月~

二次対策個別指導

自分の目標に向かって取組のスタートを切ろう!



学び続ける教師

### 卒業

教員就職・教職大学院進学等一人ひとりの異なる新しい世界がはじまる

# GOAL!&START!

2月

10月

山梨大学 教職大学院入試

8月~10月

教員採用試験合格発表

学校現場に出る準備をしよう!



教員採用試験に向けてラストサポート!

5月~8月

夏休み

講座・セミナー・個別指導

4月~9月

進路支援ガイダンス  
進路アンケート  
期間採用者等研修(教師カスルアップ研修)

4月~5月

STEP 4

### 4年次

夢・目標に向かって着実に前進!  
大学生生活の総仕上げ!

自分のアピールポイントは? 得意・不得意はどこ?



企画・製作: 山梨大学教育学部附属教育実践総合センター  
制作協力: 「ACTION PLAN」学生検討委員の皆さん

●このACTION PLANは令和6年度山梨大学戦略・公募プロジェクト-教育プロジェクト-「山梨大学教職プログラム2024」により作成しました。なお、このプログラムは皆さんの教師力向上を目指したものです。  
●教育学部での教職支援は、教職支援室、進路支援委員会、教採対策WG、学部長補佐会、微典会、実践センター等が連携して行っています。詳細についてはキャリア部の「教職支援等年間スケジュール」を確認してください。



1年次

## 教育ボランティア

1年次～4年次

社会参加実習としての単位認定もあります。

私は2年生の1年間、公立の小学校で教育ボランティアに参加しました。主に低学年と中学年の授業に入り、児童との距離感や発達段階に応じた支援の方法の違いなど、難しさを感じる場面も少なからずありました。しかし、それは実際の教育現場を間近で見たからこそ感じられたものだと思います。また、その難しさ以上に教室に入ったときの「先生！」と満面の笑みで駆け寄ってきてくれる姿や、帰るときに両腕を掴み「次はいつ来てくれる？」と一斉に聞いてきてくれる姿など、教師という仕事の魅力を実感する日々でした。(小学校教員養成特別教育プログラムM.H)

2年生の前期に、附属小学校の授業補助と大学内の子ども図書館でのボランティアへ、4年生の前期に市内の小学校の授業補助のボランティアに参加しました。最初は緊張していたのですが、子どもたちの元気な様子を見て私も積極的に子どもと関わり理解を深めることができました。また、ボランティアでは現場で働く先生方の様子を見ることができ、言葉掛けの仕方や授業での工夫など多くのことを学ぶことができたのも勉強になりました。これらの経験を活かして教育実習では児童に「先生」としてどう関わっていくべきか考えることができました。(小学校教員養成特別教育プログラムA.I)

こんな活動にもチャレンジ!

### ◆ICT支援学生

ICT支援学生は、附属小・中学校で児童生徒が授業中に扱うICT機器の支援を行う活動です。主に、授業中に児童生徒の様子を見て回りながら困っている子に対する支援を行います。他にも隔週でICT支援学生の研修もあり、Googleツールの使い方や、活動報告を行います。ICTの扱いに不安を抱えていても、研修等で学びの場があり、支援体制が整っているため、安心して参加できる活動だと思います。(幼小発達教育H.T)

### ◆地域学習アシスト

1年間同じ学級に入り、子どもたちの学習の支援を行う活動です。活動で気になることや、悩みなどを、学部の先生方や他の学生、教職大学院の先生方や大学院の先輩方(現職の先生もいらっしゃいます)と話し合うことができる点が、教育ボランティアとの大きな違いです。活動を行った後、その日にカンファレンスを行うので、細かな悩みも相談することができます。経験豊富な先生方からの助言をもとに支援を行うことができるので、これまでより教員としての視点で考えることができるようになります。(科学教育N.K)

## 初年次学校園体験活動

学校現場を自分の目で見ることによって、講義ではわからない教育現場での様子を肌で感じることができました。実際、生徒がどういったことに興味を示すのか、先生は生徒とどのように接しているのかなど、子どもとの関わり方について学ぶことも多かった。また、活動後すぐに仲間や先生方とフィードバックを行ったことが、より良い授業づくりを検討することにもつながりました。2年後の教育実習や教師としての将来像が少しずつ明確になってきたと感じています。(生活社会教育T.W)



2年次

## 観察実習

附属小中学校で計6回、先輩方の授業を観察し、大学内では得られない様々な気づきを得ることができました。教師としての子どもたちに対する振る舞いや授業の構成など、非常に勉強になり、教育実習に向けての意識が高まりました。一方、来年は自分の番であるということに対し、先輩方のような授業ができるかと不安が募りました。迫る教育実習に向けて、少しでも不安を取り除けるように学びを続け、時には先輩の力も借りながら自分らしさを忘れずに、前向きに準備を進めていこうと思います。(言語教育M.K)

## 介護等体験実習

介護等体験実習では、附属特別支援学校・地域の高齢者施設へ行き体験活動を行いました。普段私たちは大学の講義が主な学びの場ですが、実際に学校や施設に行くことで、授業で学んでいることに加えて、現場ならではの新たな捉え方をすることができるようになりました。特別支援学校ではどのように関われば児童生徒がスムーズに活動に参加できるかということ学びました。高齢者施設では目上の人に対して敬意の念を持ちながら関わる大切な体験をさせていただきました。どちらも貴重な体験となりました。(障害児教育I.O)



3年次

## 教育実習

私は前期に公立小学校、後期に附属幼稚園で実習を行いました。小学校実習では、授業づくりが不安がありました。しかし、先生方にご指導していただいたり、経験を積んだりしていく中で少しずつ慣れてきて、日々成長を感じることができました。幼稚園実習では、観察や遊ぶことを通して、子どもたちの感じている思いや、遊びに見出す楽しさを見取ることができました。どちらの実習でも、それぞれの楽しさ、やりがいを感じることができ、とても良い経験になりました。(幼小発達教育K.H)

小学校と特別支援学校で、それぞれ3週間の実習をさせていただきました。始まるまでは緊張と不安でいっぱいでしたが、いざ始めると毎日が楽しく、充実した3週間でした。もちろん大変なことや、思い通りにいかないこともあり、悔しい思いをしたこともありました。しかし、現職の先生方が助言やサポートをしてくださるため、色々なことに挑戦し続けることができました。授業後に子どもたちが、「先生、楽しかった」と言いに来てくれた時の喜びは忘れられません。実習を通して、現場ならではの貴重な学びを得るとともに、改めて教職の魅力に気づくことができました。(障害児教育Y.S)



4年次

1年次～4年次

## 教員採用試験に向けて

様々な教職支援が行われています。参加された方の合格率はとても高い状況です。

教職支援室では、担当の先生が2次試験のための小論文や個人面接を指導していただきます。私は最初、1対1での指導は緊張でいっぱいでしたが、指導していただく中で、先生に自分の不安を打ち明けると強みや弱みを知ることができ、的確なアドバイスもいただけるので自信や意欲につながりました。試験対策講座では、多くの先生方からアドバイスをさせていただきます。さらに同じ教員志望の学生と練習ができるので、面接や模擬授業では上手な人の真似をしてみたり、小論文では表現を新たに知ったりする中で自分を見つめ直すことができました。不安は大きかったですが、合格することができました。(障害児教育R.K)



教職支援



教職キャリア・ポートフォリオ

## 教職大学院への進学

さらに学びを深めるために!

教師としての力を更に高めるために教職大学院への進学を決意しました。大学院では、講義を通して多くの理論を学び、週に1回の実習を通して様々な授業実践等を行いながら研究を進めることができるなど、学部と比べ、より実践的で深い学びができる環境が整っています。また、様々な校種・教科が専門のストレートマスターや現職の先生方と交流する中で、新たな視点に気づき、視野を広げることができました。教職大学院を更なる高みを目指すための選択肢の1つにいただければと思います。(教職大学院T.H)



## 教職支援室等の講座受講生の声

- ◆学内模試 ・普段、一人で勉強していて、節目というものがつけれないため、模試は本当にありがたいです。解説も充実していて、勉強がはかどります。ありがとうございました。
- ◆論作文作成演習 ・論作文について全くイメージが持てていなかったのが、具体的な書き方などを詳しく知ることができて非常に参考になった。  
・論作文の文章構成の仕方や、なぜ論作文が教員採用試験に課されるのかという話を聞くことができてよかったです。
- ◆二次試験プレ対策講座 ・個人面接や模擬授業、場面指導など様々な対策について最終チェックできたこと、自分の課題点を見つけたことができたのでよかったです。  
・先生方に励ましていただき、本番への意欲が高まった。私の良いところや課題をたくさん見つけていただきとても勉強になった。

Instagram  
教職支援室  
公式アカウント



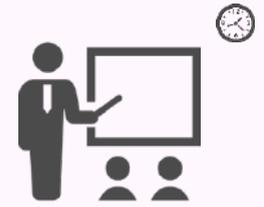
教職支援室の  
Instagram  
フォローしてね!





# 地域学習アシストで実践力を身に付けよう！

- 学校に応じた課題に取り組み、「チームカンファレンス」を通してその課題を解決することを目指します
- 教員採用時から長期にわたり活躍できるように、大学生が自分自身の目でクラスの中の課題を見つけ、課題解決に向けた取組を行うことで、実践力を育てることを目指します



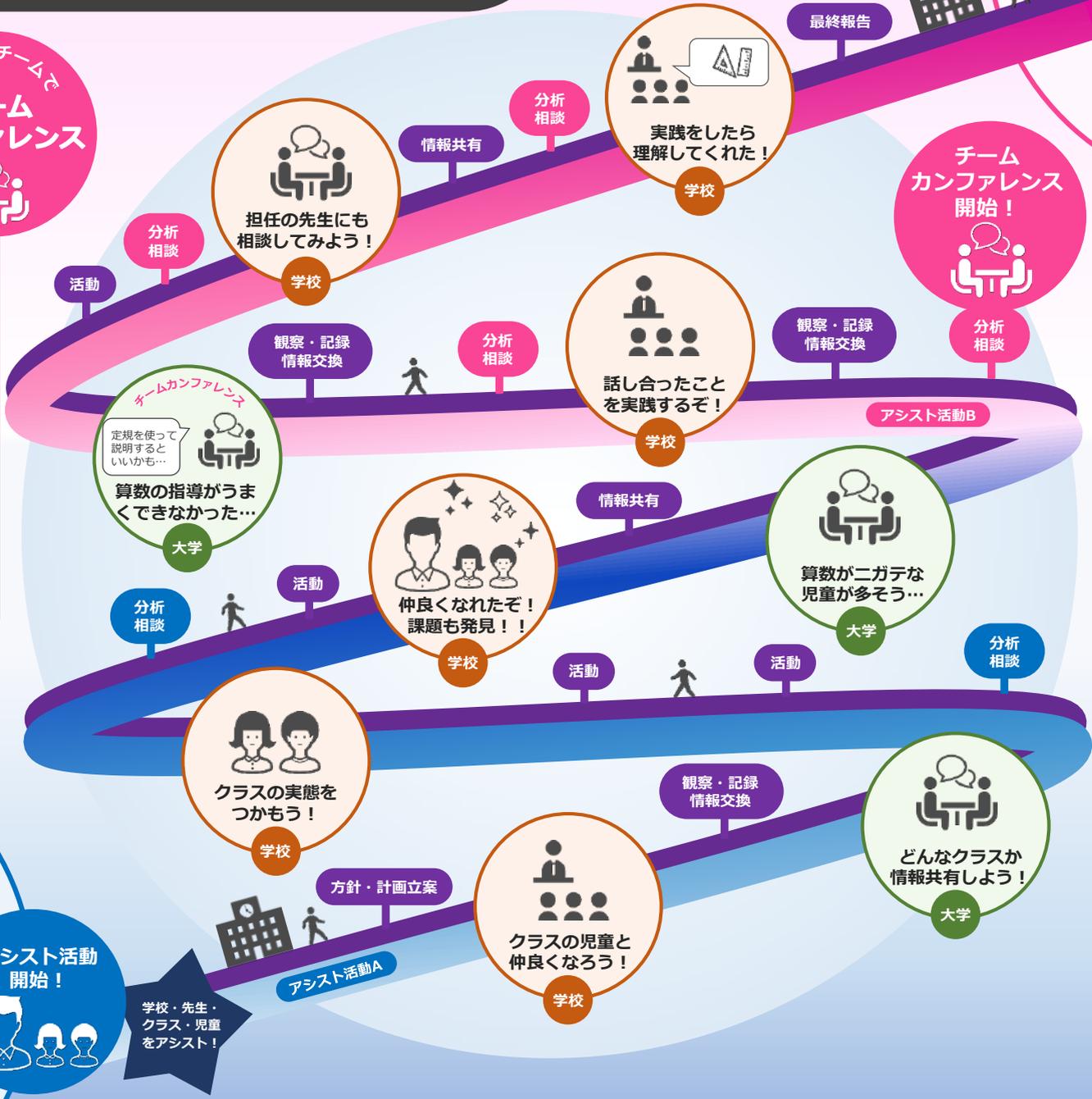
アシスト活動を通して先生になるための実践力が身に付きました

## アシストチームで チームカンファレンス



アシスト活動Bでは、

- 大学生・教職大学院生・特別支援教育特別専攻科生・大学教員等から構成されている「アシストチーム」を編成します
- 大学生が学校でアシスト活動を行った後に、その学校の課題解決に向けて、専門的な視点から分析・相談をするための「チームカンファレンス」を毎回行います



### アシスト活動B

11月～2月頃

- アシスト活動後に毎回アシストチームとチームカンファレンスを行います
- 学校の課題解決に向けた取組を行い、実践力を身に付けることを目指します

アシスト活動：計11回  
チームカンファレンス：計12回

### アシスト活動A

6月～10月頃

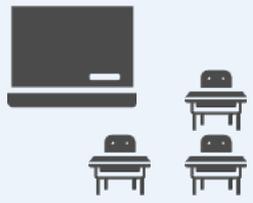
- 学習面や生活面等の支援を行いながらアシスト先のクラスの実態をつかみ、児童や先生たちと信頼関係を築くことを目的として活動します

アシスト活動：計12回  
カンファレンス：5回

毎週同じクラスで児童の支援や課題解決に向けた取組を進めていきます

## アシスト活動開始!

学校・先生・クラス・児童をアシスト!



山梨大学・山梨県教育委員会 連携事業

# 期間採用者等研修

(教師カスキルアップ研修)



## 5 / 17 (土)

対面・オンラインの同時開催です。

対面会場 山梨大学甲府西キャンパス

研修1から3いずれも単独で受講することも可能です。

9:00~10:00

研修1 (全体会)

支援を必要とする  
児童生徒も含めた  
人間関係づくり

上嶋宏樹 先生 明見小 教諭

校種を越えて学ぶべき、具体的な人間関係づくりの方法がテーマです。

10:10~11:10

研修2 (校種別分科会)

児童・生徒を  
ひきつける  
授業の工夫

小 岡里真実 先生 大國小 教諭  
中 宮下昌久 先生 下吉田中 教諭  
高 本多哲也 先生 農林高校 教頭

児童・生徒をひきつける授業作りのヒントを教科を越えて考えます。

11:20~12:20

研修3 (校種別分科会)

児童・生徒理解と  
学級・ホームルームづくり  
のヒント

小 雨宮正倫 先生 笛川小 教諭  
中 藤原 聡 先生 下吉田中 教諭  
高 三枝和博 先生 甲府西高校 教頭

生徒理解の方法や誰もが悩む学級経営について、校種別に考えます。

## 教壇に立つすべての方へ

<https://forms.office.com/r/hvzQY4DAfL>

この研修は山梨県教育委員会と山梨大学の連携事業です。  
期間採用の方・教師としての力量を高めたい方、ぜひご受講ください。

【主催】 山梨大学教育学部附属教育実践総合センター

【申込み】 右のQRコードからお申込みください。申込期限5月13日(火)

【お問合せ】 担当 yoshiko.h@yamanashi.ac.jp



OPPシートによる学習・  
指導と評価の一体化

令和7年度 子どもと教師の成長を結ぶ

# 教育評価研修会

7.30 水 甲府市南公民館

7.31 木 南都留合同庁舎

13:30-16:40

どちらの会場も研修内容は同じです。  
都合の良い方にお申込みください。



【講師】法政大学生命科学部生命機能学科  
教授 辻本 昭彦 氏

(学生が選ぶベストティーチャー3年連続選出・殿堂入り)

【申し込み】本研修は、山梨県総合教育センターの研修一覧に「外部共催 No.5011研修」として組み込まれていますので、申し込みは山梨県総合教育センターHPで行ってください。

【主催】山梨大学教育学部

【共催】山梨県総合教育センター

山梨大学教育学域支援課総務グループ TEL:055-220-8103  
山梨県総合教育センター研修指導課 TEL:055-262-5871  
<e-mail:長沼 nakaza@kai.ed.jp>



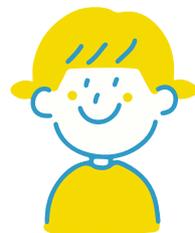
山梨大学 教育学部

附属教育実践総合センター やまなし情報教育推進室 開発

## メタバース空間



# Link



つながる、ひろがる、かなえる空間



仮想  
空間で  
つながる

興味が  
ひろがる

やりたい  
ことを  
かなえる



児童生徒の学びの多様性や学びの選択肢を広げる場の一つとなるように、教育諸課題への対応に資するメタバース空間を開発しました！

おしゃべりルームで雑談をする、自習ルームで学習する、授業ルームで授業を受けるなど、使い方はたくさん！

メタバース空間を無料でご利用いただけます

山梨県内の学校関連施設限定でメタバース空間をお貸しします  
詳細はお問い合わせください

お問い合わせ

山梨大学 教育学部附属教育実践総合センター（事務室）

Tel 055-220-8325 Mail [edjissen-as@yamanashi.ac.jp](mailto:edjissen-as@yamanashi.ac.jp)

## ■ 6・7月の主な行事予定

# 6～7月の 行事予定

山梨大学教育学部の  
関係行事を含みます

### 高等学校「情報」免許法認定講習

○申込み開始予定 6月～

※文部科学省に申請中のため変更の可能性があります。

続報は、やまなし情報教育推進室のWebページにてお知らせします。

### 教員採用試験対策講座

○ブラッシュアップ講座…今年度教採受験者

6月6日(金) LC-11、14、25

7月29日(火) A会議室、B会議室、特別会議室、LC教室他

○一次試験最終対策講座…今年度教採受験者

6月10日(火) Y-33

○二次試験対策講座…今年度教採受験者

6月17日(火) …N-11、LC-22、25、26

6月19日(木) …M-12、LC-11、14、17

7月22日(火) …A会議室、LC-21、22、25、26

7月24日(木) N-24、LC-11、14、17、21、22

○徽典会塾…今年度教採受験者

7月2日(水) …N-32

7月9日(水) …N-32

7月13日(日) …A会議室

7月20日(日) …A会議室等

○スキルアップ講座 (ICT教育) …今年度教採受験者

7月18日(金) …A会議室

○教員採用試験スタートガイダンス…2年生、次年度教採受験者

7月16日(水) …M-11

### 教師力養成講座

○教師力養成講座…3年生全員

7月16日(水) …A会議室、特別会議室、LC12～16

### 教育評価研修会

○子どもと教師の成長を結ぶ 教育評価研修会

7月30日(水) …甲府市南公民館

7月31日(木) …南都留合同庁舎